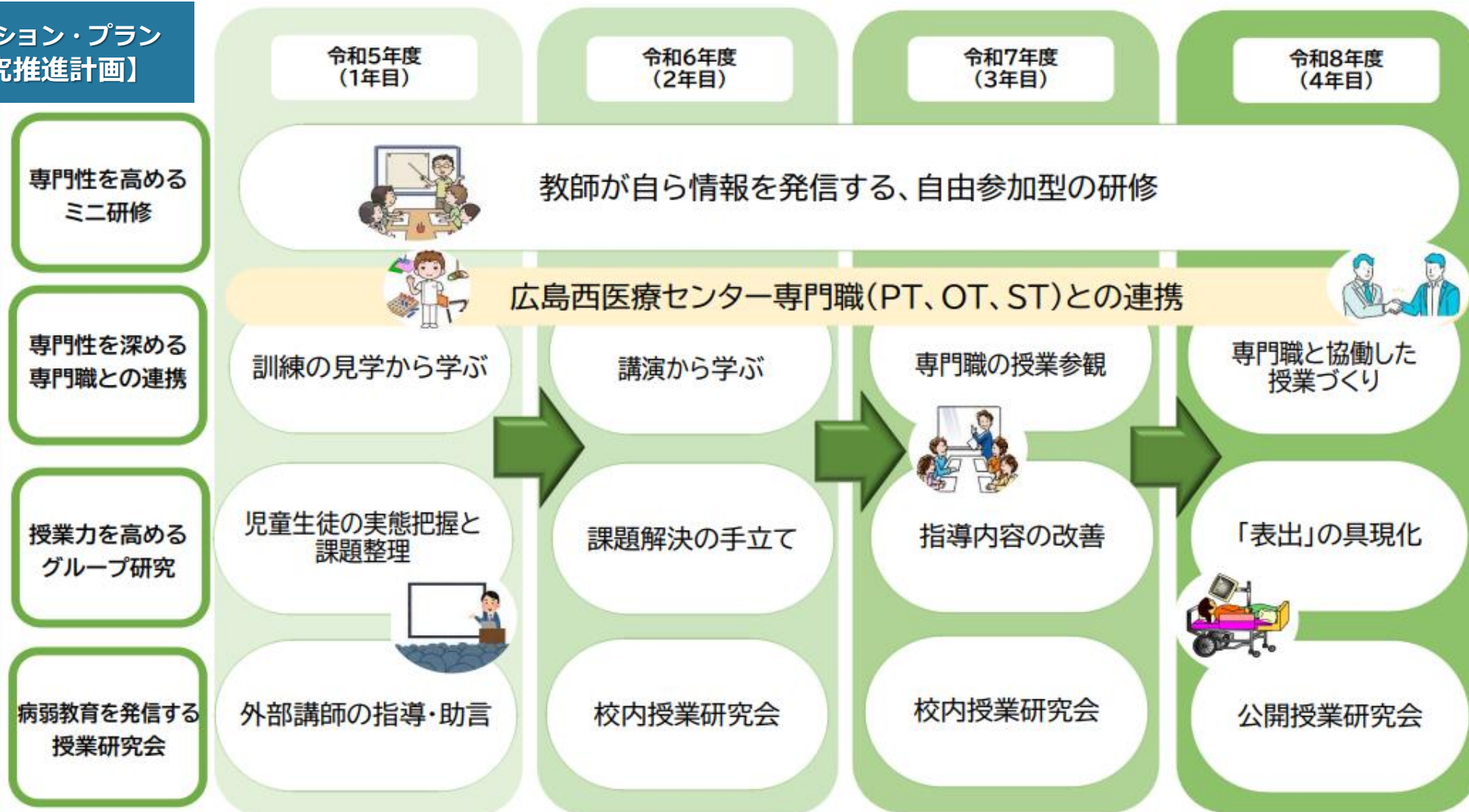


実践テーマ 「育成したい資質・能力を明確にした授業づくり  
～自立活動の授業改善とICTの活用を通して～」



本校の「学びの変革」アクション・プラン  
【令和6～8年度 研究推進計画】



**ミニ研修  
ICT研修**

- 教員が講師となって行う自由参加型の研修「ミニ研修」を13回実施
- 外部講師を招聘し、ICT研修を3回実施

**専門職との  
連携**

- 広島西医療センターの専門職（OT・PT・ST）の訓練見学
- 広島西医療センターOT、PTとの事例検討会の実施

**グループ  
研修**

- 【第1回】 学部毎に対象児童生徒1名について情報交換
- 【第2回】 重度重複障害のある児童生徒の表出に関する協議
- 【第3回】 今年度のまとめ及び児童生徒の表出に向けた取組に関する情報交換

**校内授業  
研究会**

- 校内研究授業を2回実施
- 外部講師による指導・助言

令和6年度の  
取組

	内容
1	校内の情報機器・支援機器について
2	病棟生の身体の動かし方 病棟生が使用している医療機器等について
3	筋疾患について
4	キャリア教育について
5	ICT 機器等を活用した教材・指導の紹介①
6	情報交換会 (夏休み前までの児童生徒の様子、指導について)
7	ICT 機器等を活用した教材・指導の紹介②
8	進行性疾患の子どものメンタルヘルスについて①
9	進行性疾患の子どものメンタルヘルスについて②
10	情報交換会 (冬休み前までの児童生徒の様子、指導について)
11	ICT 機器等を活用した実践報告について
12	視線入力について
13	情報交換会 (一年間の児童生徒の様子、指導について)

#### 第4回(令和6年6月4日) —キャリア教育について—

学習指導要領総則に明示された「キャリア教育の充実」や特別活動におけるキャリア形成と自己実現の内容について確認し、各学部で系統的に指導する重要性を改めて理解した。

また、I 類型の生徒が今年度から活用する本校のキャリア・ログの様式や記入方法について、教職員で共通認識をした。様式作成を通して生徒と対話的な関わりをし、ねらいや意義を共有することが重要であることを確認した。



#### 第5回(令和6年6月18日) —ICT機器等を活用した教材・指導の紹介①—

ボール型ロボット「SpheroMini (スフィロミニ)」について紹介した。専用アプリ「SpheroPlay(スフィロプレイ)」の操作の仕方や授業で活用した実践例、今後に向けての活用方法について情報共有した。

アプリと本体があれば簡単に扱えること、動きが素早いいため病棟で使用する際には柵を設けて安全に配慮する必要があることなど、使用する際の留意点についても確認した。



# 1

## ミニ研修

教員が講師となって行う自由参加型の研修「ミニ研修」を13回実施

## 第1回（令和6年7月23日 実施）

### プログラミングに関するワークショップ

#### ポイント

- ワークシート等を使って思考を「可視化」すること
- 「もっと効率的な方法はないか」とプログラムを修正する過程を積み重ねること

重度重複障害児の指導・支援に生かせる  
支援機器やアプリ、アクセシビリティ機能の紹介



## 第2回（令和6年9月30日 実施）

### 「Teach U」を活用した教材作り



#### Teach U（ティーチユー）とは…

特別支援教育に焦点を当てた、無料のプレゼン教材データベース。  
PowerPointを使用した教材が約600種類掲載されており、そのまま使用したり、  
児童生徒に合わせてカスタマイズしたりすることができる。

※サイトURL <https://musashi.educ.kumamoto-u.ac.jp/>

### アプリを活用した教材作り



#### KOMAKOMA（コマコマ）

コマ撮りアニメーション制作アプリ。  
物を少しずつ動かして撮影することで、簡単にストップ  
モーションアニメを制作できる。再生速度等も調整できる。



## 第3回(オンライン)（令和7年3月24日 実施）

- 本校の今年度の実践事例報告（フリーボードを使ったレクリエーション、KOMAKOMAを使った絵本動画、SheroMiniを使ったゲーム等）
- タブレットを活用した教材作成に関する研修



# ICT研修

外部講師（島根県立大学 人間文化学部 准教授 水内豊和先生）を  
招聘し、ICT研修を3回実施

## 訓練見学

広島西医療センターの専門職（OT・PT・ST）の訓練見学を実施し、児童生徒の身体の動かし方や授業中に気を付けなければならないこと等について指導・助言を受けた。



## 事例検討会

理学療法士、作業療法士を講師としてお招きし、本校児童生徒2名を対象とした事例検討会を行った。

教員からの質問に対し、「骨折等に配慮し、関節を二つ以上またがないように保持すること」、「今できる動作を大切にしながら、筋力低下に合わせた支援具の導入も同時に考えていく必要があること」等、貴重なアドバイスをいただいた。



（教員より）  
児童生徒が制作活動を行いやすくするための支援具の作成につながった。

（専門職アンケートより）  
実際に訓練の様子を見てもらったことで、より連携を図ることができたと感じられた。



# 2

## 専門職との連携

- 広島西医療センターの専門職（OT・PT・ST）の訓練見学
- 広島西医療センターOT、PTとの事例検討会の実施

## 第1回グループ研修（令和6年5月 実施）

グループ毎に児童生徒1名について実態把握、課題及び目標の共有を行った。疑問等については、広島西医療センター専門職との事例検討会において協議することとした。

### 小学部グループ

校内研究授業の対象となる児童について、「体調を崩さない体力を付けるために、拘縮した上肢を使ってどのような活動ができるか」「好きなことを見付け、意思疎通ができるようにするために効果的な感覚刺激は何か」等、PATHを基に目標を共有した。



### 中・高等部グループ

進行性の疾患のある生徒の授業中の姿勢やタブレット端末の操作の仕方等について情報共有を行った。また、本人の進路希望の聞き取りを十分に行い、教員が共通認識をもって卒業後の進路に沿った指導・支援を行う必要があることをまとめた。

## 第2回グループ研修（令和6年9月 実施）

第1回校内授業研究会を経て、児童生徒の表出を引き出すために教師がどのような意図的な関わりをしていけばよいか、グループに分かれて検討した。

表出の読み取りの難しさ、表出を支援する入出力装置を日常的に使用できない課題など、様々な意見が挙がった。児童生徒の実態が様々な中でも、学校全体として取り組みたい内容についても意見が得られ、共通認識をもつきっかけとなった。

「もう1回する？」の問い掛けが、直前に味わった刺激が繰り返されるので分かりやすく、表出につながるのでは？

オブジェクトキューとタッチキューを統一して取り組んでみたい！



教師の働き掛けに対して、何らかの表出を返す

- 舌を動かす
- 掌をぎゅっと握る

快・不快の表出

- 気持ちいい/気持ち悪い（これはイヤだ）
- 避けたいときは身をよじる

YES/NOの表出

- まばたき/無反応
- 目を横に動かす/動かさない
- 声を出す/出さない
- 目を動かす方向で判断
- 手を握る/握らない

選択肢から選ぶ

感情の表出

- 嬉しい/悲しい

# 3

## グループ研修

- 【第1回】学部毎に対象児童生徒1名について情報交換
- 【第2回】重度重複障害のある児童生徒の表出に関する協議
- 【第3回】今年度のまとめ及び児童生徒の表出に向けた取組に関する情報交換

## 第1回研究授業（令和6年7月2日 実施）

対象児童 小学部 第4学年 III類型  
教科・単元名 生活活動「夏を感じよう」  
授業者 小学部 教諭 森口 美紀



テーマ 洗濯遊び

ねらい ●人形やエプロンといった教材を見て、活動の始まりを意識する。  
●水や泡、洗濯物を洗濯板でこする感触を味わい、児童なりの表現で思いを表出する。

## 研究協議・指導助言（令和6年7月24日 実施）

講師：国立特別支援教育総合研究所 西日本ランチオフィス 研究企画部 大崎 博史様



泡や冷たい水の感触に手を引っ込めて、感じたことを表出しようとしていた。

目が上下・左右に動くのは意図的な表出なのか？

## 第2回研究授業（令和6年12月6日 実施）

対象児童 小学部 第4学年 III類型  
教科・単元名 生活活動「冬を感じよう」  
授業者 小学部 教諭 森口 美紀



テーマ お風呂屋さん遊び

（温冷を感じる感覚遊び）

ねらい ●テーマソングに沿ったふれあい遊びや、教師の「もう1回やる？」の問い掛けに目の動きで反応を返す。  
●冷水や保冷材で冷たさ、お湯や湯たんぽで温かさを感じ、快・不快を表出する。

## 研究協議・指導助言（令和6年12月17日 実施）

講師：広島大学大学院 人間社会学研究科 准教授 船橋 篤彦先生



研究協議では、3グループに分かれて本時の目標の達成状況や指導・支援の有効性や工夫した点について協議し、まとめを共有した。

# 4

## 校内授業研究会

- III類型（自立活動を主とした教育課程）の児童を対象とした研究授業を2回実施
- 外部講師による指導・助言